

第 25 期第 9 回運営委員会

日時：2011 年 2 月 27 日 10:30～13:50

場所：JAXA 宇宙科学研究所 新A棟 2 階 A 会議室

(遠隔会議：京都大学地磁気世界資料解析センター (北部キャンパス理学研究科 1 号館))

出席予定 (総数 18 名、定足数 11 名)

会長：津田敏隆、副会長：家森俊彦

運営委員：運営委員：阿部琢美、河野英昭 (遠隔)、木戸ゆかり、小田啓邦、塩川和夫、石井守、畠山唯達 (遠隔)、山本衛、齋藤昭則、篠原育

欠席：堤雅基、坂野井和代、吉川一郎、清水久芳、長妻努、村田功

オブザーバー (26 期運営委員)：中村正人 (26 期副会長)、藤浩明 (遠隔)、小島浩嗣、吉川顕正 (遠隔)、長谷川洋

議事

1. 前回議事録の確認 (第 25 期第 8 回運営委員会)

- ・第 25 期第 8 回運営委員会の議事録を承認した。
- ・第 25 期臨時運営委員会 (2 月 22 日) 議事録の説明と承認を行った。

2. 協賛・共催関係 (山本)

2. 1. 以下の 2 件の会議の協賛を承認。

(1) 協賛：Plasma Conference 2011 (国際会議)

(プラズマ・核融合学会第 28 回年会、応用物理学会第 29 回プラズマプロセッシング研究会、日本物理学会 (領域 2) 2011 年秋季大会)

主催：プラズマ・核融合学会、応用物理学会、日本物理学会

開催期間：2011 年 11 月 22 日～25 日 開催場所：石川県立音楽堂 (金沢市)

(2) 協賛：日本流体力学会年会 2011

主催：日本流体力学会

開催期間：2011 年 9 月 7 日～9 日

開催場所：首都大学東京南大沢キャンパス (八王子市)

3. 入退会審査・名簿作成 (塩川)

- ・新規入会：なし
- ・以下の 7 名の会員の退会を承認した。
村山喬、菅原安宏、小川俊雄、竹川暢之、田中健太郎、浅野芳洋、栗城麻由
- ・以下の 3 名の会員のシニア会員への移行を承認した。
笹井洋一、麻生武彦、齋藤尚生、向井正
- ・会費滞納者のリストを確認し、15 名の強制退会者を決めた
- ・名簿作成の状況を資料に基づいて報告。

4. 助成関係 (山本)

- 4. 1. 臨時運営委員会からの報告を上記の議事録のところでおこなった。
- 4. 2. 若手海外派遣の見直しについて、説明を行った。現在の内規には海外から国内の国際学会への参加に対する記述がない。26 期で改訂を議論する。

5. 選挙結果報告 (山本)

- ・資料に基づいて報告。

6. 新学会賞

6. 1. 新学会賞WGからの報告（山本・津田）

・資料に基づいて報告。SGEPSS フロンティア賞を新学会賞として導入する内規案を説明し、原案として承認された。これは内規なので、運営委員会で決めることができるが、5月の評議員会・総会でいったん説明して議論して頂いてから実際の活動を開始し、推薦委員会の人選を運営委員会で決めていく。

7. 25 期運営委員会の総括（津田）

・会長からの総括を行った。

8. 各担当からの報告・次期への引継ぎ

8. 1 総務（山本）

・資料に基づいて報告。学会規定の小改正、個人情報取り扱い内規の制定、60 周年記念誌の発行、秋学会の Web 投稿システム（JpGU 新システムとの統合は未了）、会員数のゆるやかな減少傾向、EPS・アウトリーチ科研費の獲得、賞の振興、JpGU との関係など。

8. 2 庶務（塩川）

・資料に基づいて報告。
・入退会審査のタイミングは、入会はメール審議でも良いことにしては、との提案があり、今後は運営委員会でメール審議する。入会申請時に庶務にも連絡してもらうように Web に掲載。退会は引き続き運営委員会で議論が必要。
・名簿作成の状況を報告。
・役員選挙はメールでの投票は難しい。投票用紙の封筒を、料金後納郵便にするように次回は検討する。
・共催・協賛手続き、議事録等作成はこれまで通り。

8. 3 会計（阿部）

・資料に基づいて報告。今期ではさまざまな会計ルールの整備、口座・支払い方法の整備、を行った。

8. 4 雑誌：（齋藤、小田）

・雑誌担当引き継ぎ資料に基づいて報告。EPS の状況説明をおこなった。ジャーナルの在り方についての意見書を説明し、JpGU がレビュー誌を創刊していくことについて学会として支持を表明する文章を、学会長名で JpGU に送付する。

8. 5 秋学会（篠原）

・資料に基づいて報告。JpGU の投稿システムを今後利用するかどうか、議論と調整が必要。また、投稿規定の見直しが必要。次回の秋学会に向けて、スケジュールを確認した。

8. 6 連合大会プログラム委員（小田）

・資料に基づいて報告。プログラム委員の役割や JpGU2011 に向けたプログラム編成のスケジュールや状況を説明。

8. 7 広報 Web（畠山、齋藤）

・資料に基づいて報告。メーリングリストの現状と問題点、ホームページの状況を報告。電子委任状を今期から開始した。現在のサービスは割高なので、安いパッケージ

に更新を検討する。

8. 8 広報会報（村田）

・資料に基づいて報告。発行実績は年 4 回。ソフトを InDesign に更新した。その他、引き継ぎ事項を挙げた。秘密事項が載らないように注意する。会報はなるべく JGL と同封してもらう。

8. 9 アウトリーチ（畠山）

・今期のアウトリーチ活動を資料に基づいて報告。Web にも記者発表を載せるように注意が必要。アウトリーチ部会の世代交代が進んで、若手が入ってきている。

8. 10 男女共同参画（木戸）

・すでに引き継ぎはメールベースで進んでいる。報告資料に基づいて報告。秋学会の保育室の確保。学協会での男女共同参画委員会への積極的な参加。また、有期限雇用者へのアンケート調査を行ったが、今後も続ける予定。

8. 11 助成金・学生発表賞総務（塩川）

・学生発表賞のスケジュールに関して、資料に基づいて報告。オーロラメダルを今期は追加で 50 個作成し、現在、40 個ほどの在庫がある。

以上

（文中敬称略、文責：塩川和夫）